



社会教育委員だより No.34

令和6年1月1日 山北町社会教育委員会議
(山北町教育委員会生涯学習課内)

明けまして おめでとうございます

本年も山北町社会教育委員会議の諸活動にご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

昨年、令和5年5月に町教育委員会から【民俗文化財の保護・継承について】という諮問があり、この大きな課題についての検討を進めています。



令和4年11月に「山北のお峰入り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に古い時代から続く山北町の民俗文化財や行事等を再認識し、次世代にどのように引き継いでいくのかを考えるよい機会とも言えます。

令和5年10月8日(日)にはユネスコへの登録を記念して「山北のお峰入り」の公演が川村小学校や山北駅前商店街、共和地区で開催され、大勢の観覧者から称賛の声があがりました。華やかで厳かな演目が目を引きましたが、公演を実施するまでの共和地区の方々の苦労や努力は大変なものであったろうと推察します。

時代の移り変わりと共に地域社会も大きく変化してきました。これは何も山北町に限ったことではありませんが、私たちの目の前には「少子化・高齢化・過疎化」という短期間では解決できないような大きな課題が横たわっています。それに加えて住民の意識の変化や世代間による考え方の違いなど目には見えにくい意識の差の拡大もあるのではないかと考えます。

こういった状況の中で私たちは【民俗文化財の保護・継承について】に取り組んでいますが、前述したような社会状況の大きな変化や住民の意識の変化などを踏まえながらの研究には、机上の論理で進めるのではなく社会教育委員自身が実際の活動を見聞し、現況や課題等を把握する必要があります。その一つとして今年度は国・県・町から指定を受けている民俗文化財の6つの保存会と直接話し合う機会を設けました。

10月17日(火)に開催した第6回山北町社会教育委員会議に、お峯入り保存会長、室生神社流鏑馬保存会長、世附百万遍念仏保存会長、川村囃子山北保存会長、川村岸囃子保存会長、白簾神社祭り囃子保存会長の6名にご参加いただき、組織や活動の現況と課題、行政との関わりや今後のあり方などについて聞き取りや意見交換を行いました。

各保存会からは現代社会の今日的な課題と重なる「子どもやリーダーなど後継者不足」「活動に必要な経費不足」などの切実な悩みが多く出され、今後の活動の維持に対する警鐘とも捉えられました。

私たち社会教育委員としては民俗文化財に関わる組織・団体等の声や町民の方々の意向等も調査しながら課題に対する取り組みを進めていく考えです。 <裏面もご覧ください>



県指定

よづく ひやくまんべんねんぶつ
世附の百万遍念仏

無形民俗文化財



南北朝時代に後醍醐天皇が都から落ち延び、世附で亡くなったため始まったという伝承が残っています。百万遍念仏は仏の名前を唱えることにより、生まれ変わったら良い人生になることを願うものです。

世附の百万遍念仏は、長さ9mの大数珠を巨大な滑車かっしゃに取り付けて、回転させながら念仏を唱える珍しい方法で行います。三保ダムの建設にともない、向原に移転された能安寺のうあんじで毎年2月中旬の土・日曜日に行われています。

出典「歴史・文化から学ぶ わたしたちの山北(令和5年度版)」山北町教育委員会

<世附の百万遍念仏公演情報>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年から公演を中止していましたが、次の日時に公演が行われます。

開催日 令和6年2月 17日(土)・18日(日)

場所 能安寺(向原 2499)

行き方 東山北駅下車徒歩5分

向原バス停下車徒歩3分

※駐車スペースは限られておりますので車でのご来訪はご遠慮ください。

【2月17日(土)の公演時間】

午後1時～2時 お念仏奉唱

午後2時～3時30分 神楽

午後4時 終了

【2月18日(日)の公演時間】

午前10時～11時半 お念仏奉唱

午後1時～2時 お念仏奉唱

午後2時～3時30分 神楽

午後3時30分～ カガリ(融通念仏奉唱)

午後4時 終了

★両日とも「お念仏奉唱」では大数珠を回しながら百万遍念仏を唱えます。

町指定

ばやし
川村囃子(山北・岸) 無形文化財



川村囃子は江戸祭り囃子の系統に属し、江戸時代末期ころ、小田原市多古から岸へ伝わり、岸囃子が始まりました。その後、岸から山北へと伝わり、山北囃子が始まりましたが、1975年(昭和50年)に町指定となる際に川村囃子に名称が統一されました。囃子は「はやし」「しょうでん」「神田丸」「鎌倉」「しっちょうめ」の5つの曲目から組み立てられています。

<川村囃子山北保存会公演情報>

例年、3月のさくら祭りや8月のこどもコンサート、11月の室生神社例大祭、1月の山北地区道祖神祭町内巡行などで公演を行っています。令和6年1月の道祖神祭では町内巡行は行いませんので、保存会としての囃子演奏はありません。令和6年3月下旬に開催が計画されているさくら祭りでの公演が予定されています。

<川村岸囃子保存会公演情報>

コロナ前は4月の八幡神社例大祭や8月の岸連合自治会夏祭りで公演を行っていましたがコロナ禍以降は公演を見合わせており、しばらく公演予定はありません。

町のホームページでも町内の民俗文化財を紹介していますのでご覧になってみてください。

